



美ふく

福井の風景

新緑に染まる
一乗谷溪谷の
名勝

一乗滝(福井市浄教寺町)は、一乗谷朝倉氏遺跡を流れる一乗谷川の上流にある落差12mの滝。その昔、泰澄大師が開いたといわれ、劍豪・佐々木小次郎がこの地で「燕返し」を編み出したとも伝えられている。滝は一乗谷の奥まったところにあり、鬱蒼と茂った木々の中に滝の音が響き、滝壺の周辺では初夏でもひんやりとした風が流れる。水しぶきがあたる岩は苔むして深い緑に覆われていた。

